



# 島田市の教育

「令和3年度全国学力・学習状況調査」からみえる島田市の子供

## 1 調査の概要

- ◇目的
  - ・児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、授業改善を図る。
  - ・本調査の結果を子供への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇実施日 令和3年5月27日(木)
- ◇実施対象 島田市内全ての小学校6年生と中学校3年生
- ◇調査内容
  - ・教科調査(小学校→国語・算数)(中学校→国語・数学)
  - ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙

## 2 調査結果の概要

### (1) 教科に関する調査結果

<調査結果(平均正答率)を領域別にまとめた。>

#### <平均正答率>

全設問における正答数の割合を算出した値(個人の正答率)を足し合わせ、子供の人数で割った値

#### <記号の見方> 全国(公立)平均正答率と比べて

- ◎ : +3ポイント以上
- : ~+3ポイントまで
- : 同じ
- △ : ~-3ポイントまで
- ▲ : -3ポイント以下



### 国語

小学校は、全国と比べて低い正答率の領域もあったが、小学校・中学校ともに、全体としては全国と比べて高い正答率となった。

学校種	全体	領域別			小:言葉の特徴や使い方に関する事項 中:伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
		話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	
小学校	○	○	○	○	△
中学校	○	○	○	○	○

### 小学校 ☆成果 ★課題

- ☆目的に応じて、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える力がついている。
- ☆資料を用いる目的を理解し、目的や意図に応じて、資料を使って話す力がついている。
- ☆文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する力がついている。
- ★文中における主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係を捉えることに課題がある。
- ★目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
- ★目的に応じて、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つけたり、中心となる語や文を見つけて要約したりすることに課題がある。

### 中学校 ☆成果 ★課題

- ☆話し合いの中で、話題や方向性・質問の意図を捉える力がついている。
- ☆書いた文章を互いに読み合い、文章構成の工夫を考える力がついている。
- ☆文章を読み、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する力がついている。
- ☆文脈に即して漢字を正しく読む力がついている。
- ☆伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く力がついている。
- ★相手や場面に応じて、適切に敬語を使うことに課題がある。
- ★文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つことに課題がある。
- ★推敲の場面で、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことに課題がある。

## 算数・数学

小学校は、全国と比べて高い正答率の領域もあったが、全体としては、やや低い正答率となった。中学校は、全体としても各領域においても、国と比べて高い正答率だった。

学校種	全体	領域別				
		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
小学校	△	△	△	○	△	○

学校種	全体	領域別			
		数と式	図形	関数	資料の活用
中学校	○	◎	○	○	○

### 小学校 ☆成果 ★課題

- ☆条件に合う時刻を求めることの力が付いている。
- ☆棒グラフから項目間の関係を読み取る力が付いている。
- ☆集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを、判断する力が付いている。
- ★三角形や平行四辺形の高さを見取り、面積の求め方を理解したり説明したりすることに課題がある。
- ★帯グラフで表された複数データを比較し、特徴やそれに応じた割合について、説明することに課題がある。
- ★場面から数量の関係を捉えて、除法の式に表し、計算をすることに課題がある。
- ★小数を用いた倍について、比較量と基準値の関係を捉えて説明することに課題がある。

### 中学校 ☆成果 ★課題

- ☆四則計算や方程式を解く力が付いている。
- ☆問題場面における考察の対象を明確に捉える力や目的に応じて式を変形したりする力が付いている。
- ☆表やグラフから必要な情報を適切に読み取る力が付いている。
- ★資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現で説明することに課題がある。
- ★関数の意味を理解し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。
- ★図形の性質や位置関係について理解したり、数学的に表現したりすることに課題がある。

## (2) 児童・生徒質問紙に関する調査結果からわかること

### よい傾向

- ☆自分にはよいところがある。
- ☆いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ☆人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ☆学校に行くのが楽しいと思う。
- ☆話し合いの時に、最後まで聞くことができている。
- ☆友達と協力することは楽しいと思う。
- ☆毎日、朝食を食べている。
- ☆今住んでいる地域の行事に参加している。

### 力を入れたい

- ★(小学校)国語が好き。
- ★(中学校)数学が好き。
- ★新聞を読む。
- ★読書をする。
- ★地域や社会をよくするために何をすべきか考える。
- ★自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表する。
- ★携帯電話・スマホ・コンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っている。

### (3) 学校質問紙に関する調査結果からわかること

#### 授業について

- ・目標を明確に設定するとともに、子供一人一人が課題解決に向けて、主体的に粘り強く取り組むよう支援する。
- ・相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝える対話の活動を取り入れ、子供が多様な意見から学びを深めることができるようにする。
- ・目的や相手に応じて、自分が調べたことや考えたことが、伝わるように工夫して表現する活動を取り入れる。
- ・振り返りの時間を設定し、子供自身が学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見つめ、次の学習につなげることができるようにする。

#### 教育活動全体について

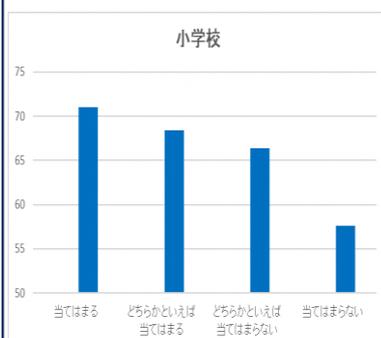
地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会を多くしていく。

※各小中学校からも「学力向上へ向けた学校の取組」を、各学校の実態を踏まえて具体的にお知らせする。島田市の子供に、確かな学力が身につけられるように今後も努力する。

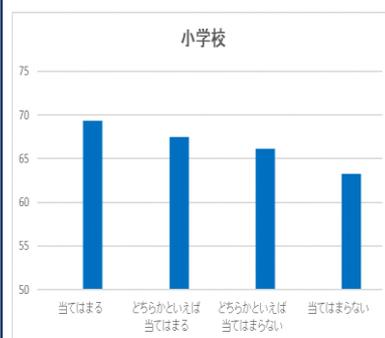
### 3 保護者のみなさまへ

自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表したり、自分で決めたことはやり遂げるようにしたりする子供の方が、平均正答率が高くなる傾向が見られます。また、平日の1日当たりにテレビゲーム（PCやスマホ等のゲームも含む）をする時間が平均正答率と関係する傾向が見られます。

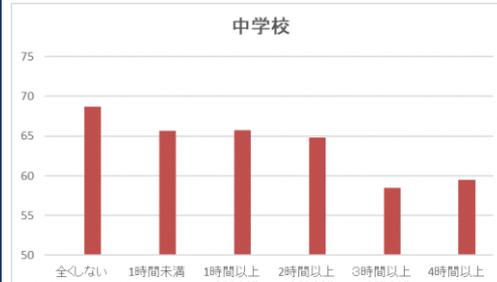
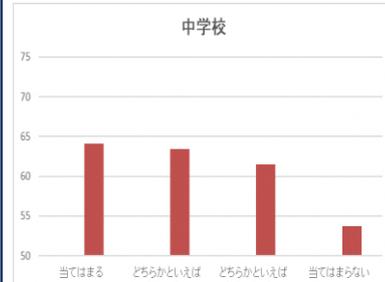
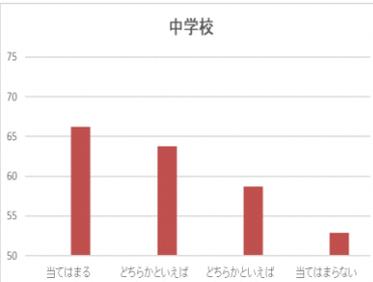
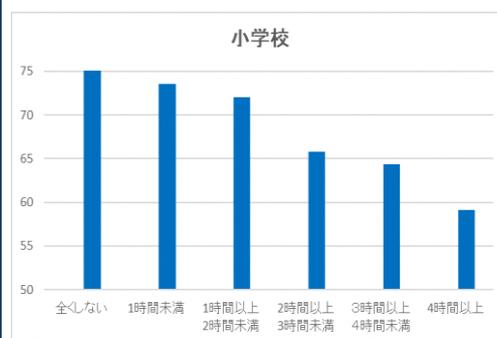
「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。」平均正答率との関係



「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。」平均正答率との関係



「普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。」平均正答率との関係



- ◇日頃から、子供たちが自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができるよう声をかけたり、励ましたりしていきましょう。
- ◇テレビゲーム・携帯電話・スマホ・コンピューター等の使い方について、御家庭で話し合い、けじめをつけて使うようにしましょう。
- ◇ものごとを最後までやり遂げることができるよう、子供の活動を見守りながら「ほめて伸ばす」「認めて伸ばす」ことを心掛けて、子供たちを励ましていきましょう。